

船舶インシデント調査報告書

平成31年2月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航阻害
発生日時	平成30年7月14日 18時30分ごろ
発生場所	福岡県福岡市志賀島北西方沖 弘港西防波堤灯台から真方位342° 1海里付近 (概位 北緯33° 41.0′ 東経130° 17.0′)
インシデントの概要	プレジャーボートFINEは、航行中、主機の運転ができなくなり、運航が阻害された。
インシデント調査の経過	平成30年7月18日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート FINE、5トン未満（長さ7.69m）
船舶番号、船舶所有者等	290-38697福岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、志賀島漁港を出港し、志賀島北西方沖の各所で釣りをを行い、釣り場を移動しようとして航行中、主機の冷却水温度が上昇した。</p> <p>船長は、主機の冷却水温度計の指針が高温側に振り切ったのを認め、異臭を感じて直ちに主機を停止させた。</p> <p>本船は、主機を始動させると再び冷却水温度が上昇するので主機の運転ができなくなり、海上保安庁に救助を要請し、来援した水難救済会の救助船により志賀島漁港にえい航された。</p> <p>本船は、本インシデント後、スリットの入った冷却海水取入口の蓋が外れており、同取入口のこし器にゴミが混入しているのが確認された。</p> <p>船長は、冷却海水取入口の蓋を取り付けるネジが緩んでいたのではないかと本インシデント後に思った。</p>
分析	本船は、志賀島北西方沖を航行中、冷却海水取入口のこし器がゴミの混入により塞がれたことから、冷却海水の流量が減少して主機の冷却水温度が上昇し、主機の運転ができなくなって運航が阻害されたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、志賀島北西方沖を航行中、冷却海水取入口のこし器がゴミの混入により塞がれたため、冷却海水の流量が減少して主機の冷却水温度が上昇し、主機の運転ができなくなったこと

	により発生したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 主機の冷却海水経路は、定期的に掃除を行うこと。・ 海水取入口の蓋等を外した際は、復旧時に確実に取り付けること。